



ASAHI University News Letter

vol.123  
September 2019

発行日／隔月1日  
編集・発行／朝日大学 総務部

# 朝日大学公開講座 ぎふベースボールアカデミー開催



ぎふベースボールアカデミー対談の様子

朝日大学では、地域社会の幅広い層の方々の学習の機会として、国内外にて活躍されたプロ野球解説者川上憲伸さんをお招きし、「日本一を目指して～憲伸からのメッセージ～」をテーマに、2019年度朝日大学公開講座ベースボールアカデミーを開催しました。

朝日大学は、今後も知の拠点としての使命を果たすために、教育や研究の成果を社会に還元し、地域社会との交流を推進してまいります。

## 朝日大学公開講座「ぎふベースボールアカデミー」を開催

8月4日に朝日大学、岐阜県野球協議会と公益財団法人岐阜県教育文化財団とが共催して朝日大学公開講座「ぎふベースボールアカデミー」が、ぎふ清流文化プラザ長良川ホール（岐阜市長良）にて開催され、地域住民、学童野球、少年野球の小・中学生やその指導者など約400名が参加しました。



川上さんから野球に対する熱い思いが語られる



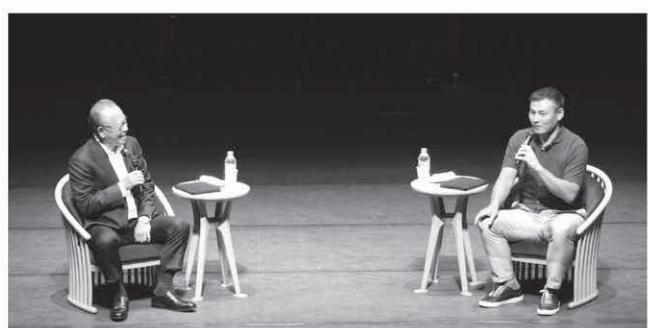
ピッティングフォームのアドバイスを受ける様子

### 日本一を目指すための心構え

本大学客員教授で岐阜県野球協議会理事長の後藤寿彦先生と元中日ドラゴンズ投手でプロ野球解説者の川上憲伸さんとで「日本一を目指して～憲伸からのメッセージ～」をテーマに対談していただきました。

川上さんからは、歩んできた野球人生を振り返りながら「野球に取り組む中で、中学や高校時代に受けた影響は大きい。今、野球に取り組んでいる皆さんには、家族の支えに感謝して練習に励んで欲しい」と熱い思いが語られ、参加者は、耳を傾け、深く関心を寄せていました。

また、川上さんから、中学生に向けたピッティングのアドバイスも行われ、元プロ野球の投手から、学ぶ貴重な機会となりました。



対談の様子(左から後藤先生、川上さん)

## スポーツフェスティバルを開催

7月13日に本大学体育会と公益社団法人ぎふ瑞穂スポーツガーデンの共催で「第10回スポーツフェスティバル」を開催しました。地域の子どもたち、高校生やその保護者ら約450名が参加し、体育会に所属する学生等とスポーツを楽しみました。

今回で、10回目の開催となったスポーツフェスティバルは、全学をあげてスポーツ活動を支援している本大学が、地域貢献活動としてレクリエーションを通じてスポーツに親しんでもらおうと開催するイベントであり、地域の皆さんと本大学の交流の場となっています。

### 子どもたちとスポーツ体験

体育会所属の各部（ラグビーフットボール部、フェンシング部、相撲部、硬式野球部、硬式庭球部、剣道部、ホッケー部、バレーボー



的に目掛けでシュート(FC岐阜ブース)

ル部、吹奏楽部）の部員と防犯ボランティア団体「めぐる」の学生が指導者となり、それぞれ遊びの要素を取り入れたレクリエーションやゲームを企画運営、子どもたちと共に楽しみました。

また、会場には、FC岐阜のブースが設けられ、キックターゲットなども行われました。



相撲部員とのこった、のこった



ホッケー部員とゴールを目指して

## 2019年度オープンキャンパス開催

6月から8月にわたり、計5回のオープンキャンパスを開催しました。今年も大変多くの高校生や保護者の方にご参加いただきました。

### 歯学部(6/16・7/25・8/25開催)

7月、8月は「1日歯学部体験」ができるプログラムで開催し、模擬講義や実習体験を実施しました。全国各地から将来歯科医師を目指す高校生やその保護者が参加し、本大学歯学部の教育内容や指導体制、入試の説明に熱心に耳を傾けていました。



学生とのランチ懇談



入試説明会



実習体験



個別相談

### 法学部・経営学部・保健医療学部(6/16・7/28・8/18開催)

各学部学科の模擬授業、実習体験のほか、入試・奨学金・就職説明、キャンパス見学などを実施し、各々が希望のプログラムに参加しました。学生スタッフや教職員になんでも聞けるコーナーでは、入試のことや学生生活について質問する姿が多く見られました。

オープンキャンパスでは、学生スタッフや教職員スタッフと気軽に話せる機会を設け、本大学の雰囲気を体感していただいている。



全体説明会



学生との交流



ANAエアラインスクールの講師招聘



実習体験(看護学科)

今年度のオープンキャンパスは全て終了しました。

入試等のご不明な点につきましては、入試広報課までお問い合わせください。  
【お問い合わせ先: 入試広報課 TEL 0120-058-327】

## 北方警察署から感謝状

5月31日に本大学経営学科3年生與那嶺俊太さんと健康スポーツ科学科3年生嘉陽伊織さんが、北方警察署署長室において、困っていた見ず知らずのお年寄りを助けたとして、署長感謝状が授与されました。

葛飾孝彦署長から「見て見ぬふりをする人もいる中、よく最後まで助けてくれました」と称えられました。二人は、5月23日午後11時30分頃、自宅アパート近くで車が動かないと困っていた高齢女性(84歳)に声を掛けるも話が噛み合わなかったことから、一人で帰宅させることに不安に思い、その女性の免許証から身元を確認して、無事に自宅に送り届けました。その女性の息子さんが、同署に行方不明届を出していたところで、大変喜ばれ感謝されました。



左から葛飾北方警察署長、與那嶺さん、嘉陽さん

右に不安に思い、その女性の免許証から身元を確認して、無事に自宅に送り届けました。その女性の息子さんが、同署に行方不明届を出していたところで、大変喜ばれ感謝されました。

## 有識者懇談会を開催

本大学会議室において「朝日大学の教育研究に関する有識者懇談会」が開催されました。



懇談会では、本大学の教育研究に関すること、ならびに2018年度事業報告・決算について説明が行われ、森和之瑞 有識者懇談会が開催される穂市長をはじめとする有識者委員の方々から貴重なご提言等をいただくことができました。懇談会でいただいた貴重なご意見は、本大学の今後の教育課程編成の検討や研究活動に活かしていくこととなります。

有識者懇談会は、本大学の学部及び大学院研究科における教育研究に関して、学外の有識者の方々からご意見を聴き、教育課程編成等の改善検討及び研究活動の推進に活かすことを目的として設置されている懇談会です。

## 客員研究員を受入れ

### 日本の歯科衛生士教育を学ぶ

朝日大学歯科衛生士専門学校では、2017年12月に学術交流協定を締結した北京大学口腔医学院看護部から2名、青島市口腔医院から1名を本大学の客員研究員として、6月1日から約3か月間受け入れました。



客員研究員(左から2人目～4人目 Da Liさん、Ma Guijuanさん、Li Naさん)との記念撮影

当該客員研究員は、中国における予防歯科概念の普及と国家資格としての歯科衛生士教育制度の創設のための基盤形成を目的として、研修を行いました。その間、臨地実習や歯科衛生士専任教員講習会への参加等の研修プログラムを通じ日本の歯科衛生士教育について学び、また、京都や東京での研修では歯科企業研修の他古き良き日本文化に触れ、帰国の途に就きました。

客員研究員の今後の活躍が大いに期待されます。

## 学会・学術活動が評価される

### 日本歯科保存学会「学会賞」受賞と「名誉会員」に推戴

第150回日本歯科保存学会2019年度春季学術大会において、本大学堀田正人教授が、日本歯科保存学会「学会賞」を受賞し、同学会「名誉会員」に推戴されました。堀田教授は同学会の評議員、理事を歴任。同賞は長年にわたり、歯科保存学分野に多大な学術貢献をし、同学会の発展に指導的役割を果した功績をたたえるものです。

今回の受賞は、堀田教授の同学会における学会活動・委員会における会務に関する貢献が顕著であり、学術的発展に大きく貢献したと認められたものであり、同学会の田上順次理事長から堀田教授に「学会賞」と「名誉会員証」が授与されました。



堀田先生に「学会賞」と「名誉会員証」を授与される「名誉会員」に推戴されました。堀田教授は同学会の評議員、理事を歴任。同賞は長年にわたり、歯科保存学分野に多大な学術貢献をし、同学会の発展に指導的役割を果した功績をたたえるものです。

## ジュニアロースクール開講

本大学6号館模擬法廷において、中学生を対象とした「第11回岐阜県弁護士会ジュニアロースクール」が開講されました。

裁判員制度の実施から10年を迎える、国民の司法参加が必須となった今日において、一般市民に対する法教育、さらには、若年層に対する学校での法教育の重要性が増しています。

ジュニアロースクールは、岐阜県弁護士会、法学部を有する朝日大学、県内学校の法教育推進を目的として設立された岐阜法教育研究会と連携し、中学生の夏休み体験学習の一つとして毎年開講されています。



### 模擬法廷で裁判を体験！

模擬法廷に集まった約50名を超える中学生たちは、初めて体験する裁判所（模擬法廷）に少し緊張ぎみの様子でしたが、刑事事件における証拠の検討、考慮すべき事情から論点を整理し、少人数のグループに分かれて熱心に話し合いを行いました。

## 図書の寄贈を受ける

図書館では、本大学歯学部（歯科保存学分野）二階堂徹教授から、著書を寄贈していただきました。

### 『完全攻略スーパーント® 一接着の悩み即解決－』 (クインテッセンス出版) 2018

歯科用接着材料であるスーパーントは、初めて使う歯科医師はもちろんのこと、すでに臨床で利用している先生方にも汎用性の高い材料であることが認識できる書となつており、歯科用接着材料を「完全攻略」するための最良の1冊です。

## ハワイ大学マノア校学部長ら来学

### 国際交流の推進と充実に向けて

本大学と学術交流に関する覚書（2018年4月）を締結しているハワイ大学マノア校から、教育学部Nathan Murata学部長、同学部キネオロジー&リハビリテーションサイエンス学科大庭有希也准教授が来学されました。

一行は、滞在期間中、本大学歯科衛生士専門学校を訪れ、同校の実習を視察し、日本の歯科衛生士教育について関心を寄せています。

また、保健医療学部健康スポーツ科学科教員を対象に、Nathan Murata学部長からハワイ大学の紹介及び同学部長の専門領域についてのプレゼンテーションが行われ、同学科の教員からも、それぞれの研究内容についての紹介が行われました。



実習視察の様子



プレゼンテーションを行うNathan Murata先生(右)

### FD教員研修会を開催

保健医療学部看護学科及び健康スポーツ科学科教員を対象としたFD教員研修会が開催されました。

今回の研修会では、来学中のハワイ大学マノア校教育学部キネオロジー&リハビリテーションサイエンス学科大庭有希也准教授を講師にお招きし「ME,UH,COE,AT,KRS, and Beyond」をテーマに研修が進められました。

大庭先生からは、ハワイ大学の紹介、同氏の所属学科が提供する教育及び脳震とうについての研究紹介が行われました。また、立ち上がり動作、歩行動作を撮影・分析するなど、健康スポーツ科学科竹島学科長を中心とした、学術交流に関する覚書に基づいた共同研究について説明がありました。

本大学では、今年度健康スポーツ科学科学生によるハワイ大学での海外研修を計画しており、今後さらにハワイ大学との研究交流を深めていくことが期待されます。



大庭先生がハワイ大学の教育・研究における現状を紹介

### 『コンポジットレジンによる最新MI修復』歯界展望別冊 (医歯薬出版) 2019

総論編としてFDIが公表した「う蝕の管理のためのMID」の解説から始まり、基本編、「ダイレクトクラウン」と「ダイレクトブリッジ」のコンビネーション修復の症例等を紹介した臨床実践編まで、コンポジットレジン修復を広範囲にまとめた一冊となっています。

## 北欧フィンランドから歯学部学生を受け入れ

本大学と文化学術交流協定(2006年5月)を締結し学生・教員の相互交流を行っているフィンランド・トゥルク大学歯学部の学生と教員とが、本大学歯学部での短期海外研修のため来日しました。

一行は、1号館臨床系ゼミ室で永山元彦歯学部国際交流委員長による「本大学歯学部教育システム」や「岐阜の歴史・文化について」を受講。トゥルク大学からDr.Jaana Rautava氏が「口腔粘膜疾患の診断」、Dr.Kari Rantavuori氏が「クオリティ・オブ・ライフ」と題して講義を実施し、本大学教員・学生からは活発に質問が飛び交い、研究テーマへの理解を深めました。

その後一行は、医科歯科医療センターを視察、歯学部シミュレーション実習室において、人間型ロボット(シムロイド)のレクチャーを受講し、本大学での充実した研修プログラムに取り組みました。

### 日本文化を体験

研修プログラムを終えたトゥルク大学の学生たちは、キャンパス内の相撲場を訪問。

体育会相撲部の部員らとともにまわしをつけて稽古に参加、満面の笑顔で日本の伝統文化「相撲」の奥深さを体験しました。



相撲部の練習を視察

## 中国へ教員派遣

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「中国政府による日本の若手科学技術関係者プログラム」において、歯学部(歯科矯正学分野)駒形香菜子助教と歯学部(歯科補綴学分野)堤由希子助教が選ばれ、6月24日~29日にかけて、駒形助教は北京と福州、堤助教は北京と太原へ派遣されました。

本プログラムは、中国科学技術部の主催により、日中間の科学技術分野における協力・協働を促進するために日本の若手科学技術者を中国へ派遣するもので、大学や研究機関への訪問、政府関係者、中国の研究者らとの交流が実施されます。

本大学は2015年から2019年まで5年連続でJSTの「さくらサイエンスプラン」に採択されています。



左から駒形助教、大友学長、堤助教

## 歯学部海外研修を実施

歯学部では、国際的な視野を持ち幅広く活躍できる歯科医師を育成するために、毎年夏季休暇等を利用して「短期海外研修」を実施しています。5年生を対象とした海外研修の費用は全額大学で負担しており、学生にとっては、国際交流を深め海外の医療の現場を知る絶好の機会となっています。

出発前に、田村康夫副学長、江尻貞一歯学部長、永山元彦歯学部国際交流委員長ほか、引率教員ら関係者が出席し、壮行会が行われました。

今回海外研修に参加する学生たちは、研修先での各種研修プログラムに思いを馳せ期待に胸を膨らませそれぞれの意気込みを英語、スペイン語、中国語などの研修先の言語で堂々と発表しました。

### 海外4カ国7大学へ派遣

夏季休暇を利用した2019年度の歯学部短期海外研修は4カ国7大学でそれぞれ行われ、8月末までに全て終了、将来の歯科医師たちにとって実り多い海外研修となつたようです。

	フィンランド	トゥルク大学	2名
	中国	北京大学口腔医学院	5名
		空軍軍医大学口腔医学院	5名
		カリフォルニア大学ロサンゼルス校	5名
	アメリカ	テキサス大学サンアントニオ校	5名
		アラバマ大学バーミングハム校	5名
	メキシコ	メキシコ州立自治大学	5名

※他2大学(アメリカ、イタリア)へ2名ずつの派遣を予定

## 「茶道教室」を実施

### 日本文化に触れる

留学生別科の外国人留学生を対象とした授業科目「日本事情I:日本の文化」において「茶道教室」が実施されました。

瑞穂市茶道協会から3名の講師をお招きし、お菓子のいただき方、薄茶の立て方、お茶のいただき方をグループに分かれ体験し、外国人留学生らは、日本の伝統文化である茶道に触れるとともに、おもてなしの心を感じ取りながら、講師の説明に耳を傾けていました。

留学生別科では、ベトナム、ネパール、パキスタンなど8か国から55名の外国人留学生が学んでいます。今後、別科生たちが日本と諸外国の架け橋に、また、「国際未来社会」を切り開く人材へと育つことが切に願われます。



茶道教室の様子

## 熱中症対策講話及び救急救命法講習会を開催

学生部が主催する熱中症対策講話及び救急救命法講習会が本大学5号館講義室で行われ、体育会や学友会の各学生リーダーや教職員ら約90名が受講しました。

本講話及び講習会は、毎年夏季になると各地で「熱中症」による事故が多数報告されていることから、運動や課外活動中の「熱中症の危険性」に対し学生や教職員が十分認識を高めること、救命救急法についての基本的な知識を習得することを目的に、毎年開催されています。

### 暑さに油断しないために

熱中症対策講話では、大塚製薬株式会社土屋勝哉さんを講師にお招きし「熱中症からカラダを守ろう」をテーマに講話がなされ、熱中症の発生要因とその対処法について、実際に身近なスポーツドリンクを利用した補給法が示されました。



### 人工呼吸や心臓マッサージを学ぶ

救急救命法講習会では、歯学部（歯科麻酔学分野）後藤隆志講師から「いざ!という時のための救急救命法の知識」と題し、人工呼吸法、心臓マッサージの説明が行われ、参加者は「心肺蘇生法」を学びました。

## 教育懇談会を開催

### 建学の精神に基づく教育方針を説明

法学部、経営学部、保健医療学部健康スポーツ科学科の教育懇談会が本大学講義室で開催されました。

各学部の懇談会では、学部長から「建学の精神」に基づく教育方針の説明を交えた挨拶や教員紹介などがあり、その後活発な質疑応答が行われました。

「個別懇談」では、指導教員と保護者とが、学生のキャンパス内での様子や学業成績、就職活動状況などについて個別に面談を行い、実り多い教育懇談会となりました。



## 朝日祭告知!!

盛りだくさんのイベントを予定

「第49回朝日祭」が盛大に開催されます。  
皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

期 日 10/18(金)・19(土)

催し(予定) ライブコンサート、模擬店、ビンゴ大会、フリーマーケット など

## 学生補導講演会を開催

学生部が主催する「交通ルールとマナー」及び「犯罪に巻き込まれないために」をテーマに学生補導講演会が本大学5号館講義室で行われ、体育会や学友会の各学生リーダーや教職員ら約80名が受講しました。



交通ルールとマナーについて呼び掛ける塚本巡査部長

講演会では、都尾元宣学生部長の挨拶に続いて北方警察署交通課の塚本則夫巡査部長から、交通事故状況について説明や「日頃から、交通ルールやマナーを遵守して行動することが重要」と学生らに呼びかけがありました。その後、同署生活安全課長の藤田智洋警部からは、昨今多発している「SNS、DV、ストーカー、アルコール」などのトラブルに巻き込まれないように「各自の自己防衛のための意識高揚」につながる講話をいただきました。受講者たちはメモをとって、講師の話に熱心に耳を傾けていました。



身近なトラブルについて説明する藤田警部

## 学生と社会人のワールド・カフェ

「男女共同参画・女性の活躍推進事業の連携に関する覚書」を締結している瑞穂市と本大学とが、男女共同参画週間（6/23～6/29）にあわせ本大学6号館学生食堂で「聞いて 話して 学び合える!学生×社会人のワールド・カフェ」を開催。学生や社会人ら約80名が参加しました。

ワールド・カフェは、和やかな雰囲気の中で行われ、はじめに特定非営利活動法人「あゆみだした女性と子どもの会」の廣瀬直美理事長から「男女共同参画社会～あなたたちはどう生きる?」をテーマに講演が行われ、女性の社会進出の状況や近年の働き方の変化について説明がなされました。その後、少人数のグループに分かれて意見交換が行われ、学生は自分らしい生き方やキャリア形成を考える機会、また、社会人は働き方を見つめ直す機会となり、情報交換や相互理解を深めました。



活発な意見交換がされるワールド・カフェ

最後に、森和之瑞穂市長及び(本大学)森下伊三男副学長から、閉会のあいさつがあり、盛況のうちに会は終了しました。



昨年の朝日祭の様子

## マーケティング指導者養成講座を開催

本大学マーケティング研究所と岐阜県商業教育研究会との共催により「2019年度第1回マーケティング指導者養成講座～応用ゼミナール」を開催し、岐阜県内の商業高校教員が参加しました。

山田雄治先生（岐阜県立大垣商業高等学校校長）から、「これまでのものづくりの考え方方に加え、個人が持つ意味的価値を考えることが必要となります」と挨拶があり、本大学経営学部ビジネス企画学科中畠千弘教授（同研究所所長）による、福岡県糸島市の事例を用いた、地域における事業開発や商品開発についての講義が行われました。

本養成講座は、マーケティングに関する授業力並びにアクティブラーニングの実践力向上を目指して開催されるもので、2015年度から開催されています。



養成講座の様子

### 開発事例から学ぶ

引き続き、養成講座受講者と経営学部生の授業科目「商品開発論」の受講生とを対象に、花王グループカスタマー・マーケティング株式会社チェーンストア部門チェーンストア部長東口晃子さんをお招きし、「消費者ニーズを捉えた商品開発」と「営業のお仕事」」をテーマに講演をしていただきました。

講演では、身近なブランド商品の開発事例の中で、特に女性をターゲットとした商品開発を行う際に必要となる市場のリサーチ方法や開発プロセスについて解説され、最後に、営業の仕事の魅力や苦労など、仕事についてもアドバイスいただき、受講生らは、メモをとり熱心に耳を傾けていました。



東口さんが商品開発について解説

スポーツクラブ × 大学 × 病院連携事業

### 「健康教室」のご案内

#### ❖ 楽しくエクササイズ!

健やかで快適に暮らせるからだづくりを目指します。ペアで行うエクササイズもありますので、お友達やご夫婦での申込みを歓迎しております。

【対象者】成人 【定 員】30名

【期 間】隔週月曜日(計11回)

10/21・28、11/11・25、12/9・16  
1/20・27、2/10・17、3/2

【時 間】10:00～11:30

【指導者】朝日大学保健医療学部 健康スポーツ科学科 教授 築瀬 歩

健康づくりを促進している総合型地域スポーツクラブぎふ瑞穂スポーツガーデンと健康維持増進を進めている朝日大学病院が朝日大学所属の指導者による健康教室を開講しています。



## 中部教育学会第68回大会を開催

本大学6号館において中部教育学会第68回大会が開催されました。主催者である中部教育学会は、中部地区在勤・在住の諸有志によって組織された教育学を専門的に考究する学術団体となります。本大学では教職課程センターを中心に会員が多く所属していることが縁となり、今回の本大学での開催に至りました。

### 分科会と公開シンポジウム

午前中は、6つの分科会で自由研究発表が行われ、理論研究のほかに教育現場での実践をふまえた研究も数多く報告されるなど、非常に有意義なものとなりました。午後からは公開シンポジウム「『主体的・対話的で深い学び』の授業づくりを問い合わせ直す」が行われ、新学習指導要領の全面実施を目前に控えるなか、研究者および実践者それぞれの立場から何ができるのか、という点を軸に報告がなされ、活発な議論へと繋がりました。

当日は、約90名の参加者を迎えて、大盛況のうちに大会は終了しました。



シンポジウムの様子

### コラム 読んでほしい、憶えていてほしい一作

芥川龍之介の短編小説『手巾(ハンケチ)』をご存じですか？

物語はいろいろな解釈ができる内容なのですが、小説の中でこういう描写が出てきます。息子を病気で亡くした母親が、ときには微笑みさえ浮かべながら、淡々と子供の死を語る。それを聞いていた主人公(大学教授)が、床に落とした物を拾おうとテーブルの下にかがむと、その母親がちぎれんばかりにハンカチを握りしめているのが見えた。うわべは冷静を保っているが、心の中では慟哭していたという話です。

これは、表情に表れなくても実際に心で思っていることは違う、という喻えのようなもの。でも、ちょっと深い話ですね。



経営学部経営学科  
後藤宏行

### ❖ 心と体のシニア健康教室

ロコモ対策と転倒予防のためのトレーニングにより身体を鍛え、アンガーマネジメント(無駄な怒りの解消法)により心のトレーニングをすることで、より楽しい毎日を過ごせるようになるための教室です。

【対象者】50歳以上 【定 員】30名

【期 間】隔週木曜日(計11回)

10/10・24、11/7・21、12/5・19  
1/9・23、2/6・20、3/5

【時 間】9:30～11:00

【指導者】朝日大学保健医療学部 健康スポーツ科学科 助教 土田 洋



[お問い合わせ]

公益社団法人ぎふ瑞穂スポーツガーデン事務局  
TEL 058-327-5004

場 所／岐阜県岐阜市橋本町3丁目23番地 朝日大学病院 西館1階ホール  
料 金／保険料1,200円(年額)

参加費／300円(チケット制のため1回につき) 5枚つづり/1,500円、6枚つづり/1,800円、11枚つづり/3,000円

# SPORTS

## アメリカオリンピック委員会 Dr. Randall L. Wilber氏来学!

アメリカオリンピック委員会アメリカスポーツ医学会特別会員・上級スポーツ生物学者のDr. Wilber氏が来学され、本大学の大友克之学長、竹島伸生健康スポーツ科学科長、歯学部(小児歯科学分野)飯沼光生教授らと高地トレーニングの最新事情、トップアスリートへのアプローチ方法、歯とスポーツの関係について協議しました。

大友学長から、本大学出身・所属するオリンピアンについて紹介。続いて飯沼教授から、マウスガードなどの研究についての説明がありました。

Dr. Wilber氏は、本大学のスポーツ指導について深く関心を寄せられている様子で、アメリカにおけるマウスガード事情に触れ、研究や普及の必要性を感じられることが述べられました。

協議後、本大学スポーツ施設のラグビー場、相撲場、剣道場を視察し、Dr. Wilber氏は、日本の伝統的なスポーツに非常に興味を示されていました。



Dr. Randall L. Wilber氏と大友学長(右)

## フェンシング アジア選手権大会 金メダル獲得!

体育会フェンシング部の辻すみれ選手(法2年)が、日本代表として出場した「アジア選手権女子フルーレ団体(千葉ポートアリーナ(千葉県千葉市で開催)]において、見事初優勝を果たし、金メダルを獲得しました。

初戦はフィリピンに45-23で快勝し、準決勝では中国を30-23で下しました。勢いそのままに、決勝戦では世界ランキング5位の韓国を45-29で破り、見事優勝しました。

2020年東京五輪出場枠は、来年4月までの国際大会の成績で決まり、今大会も対象となるため、オリンピック出場にむけて大きく前進する結果となりました。

日本の優勝に大きく貢献した辻選手の今後の活躍が益々期待されます。



優勝した日本チーム(左から2人目が辻選手)

## ホッケー 全日本大学王座決定戦優勝

体育会ホッケー部は、立命館OICフィールド(大阪府茨木市)及びグリーンランドみずほ人工芝ホッケー場(京都府船井郡)で開催された「第38回 全日本大学ホッケー王座決定戦」において、初優勝を飾り、県勢男子で初めて全日本大学王座の頂点に立ちました。

早稲田大学(初戦)、聖泉大学(準々決勝)、立命館大学(準決勝)に快勝し、決勝戦は、前回大会2位の天理大学を相手に積極的にプレスをかけてボールを奪い、早いパスで一気にゴールへと迫る試合を開催、流れを掴み勝利を手にしました。

今後は、まだ制したことのないインタークレッジの頂点に立ち、大学2冠達成を目指します。



勝利を手にして喜び合う選手たち

## 相撲 朝日大学出身力士を励ます会

7月3日に本大学6号館食堂において、本大学体育会相撲部出身の大相撲力士を応援する「朝日大学出身力士を励ます会」が開催されました。

本会は、大相撲名古屋場所に出場する力士にエールを送るために開催され、卒業後角界入りした力士の中で、徳真鵬元久さん(木瀬部屋)、碧天大市さん(春日野部屋)、魁禪拓海さん(浅香山部屋)が参加し、大友克之学長や相撲部関係者等から激励されました。

また、餅のように粘り強い相撲取りになることを期待して、教職員らが力士と共に餅つきを行い、三名の力士からは、「今後もいい報告ができるように頑張ります。応援よろしくお願いします」と決意が述べられました。



力士と集合写真



餅のように粘り強く願いを込めて

## 大会で優勝

体育会相撲部(女子)は、網干南公園相撲場(兵庫県姫路市)で開催された「第5回全国女子相撲選抜ひめじ大会」に出場し、中量級・水沼ひかる選手(法2年)、軽重量級・矢口菜美選手(法1年)、重量級・紅谷樹里選手(ビ4年)、無差別級・水沼ひかる選手(法2年)が、各階級において優勝しました。



健闘した相撲部員たち